



『粘りの走りで 9 位。課題の多いレースだったが次に繋がるレースを見せる。』



シリーズ名：2023 AUTOBACS SUPER GT シリーズ

大会名：2023 AUTOBACS SUPER GT Rd.5「SUZUKA GT450km RACE」

レース距離：1周 5.807km×77周（447.1km）

8月26日（土）天候：晴／路面：ドライ

8月27日（日）天候：晴／路面：ドライ

8月26日（土）

公式予選：GT500 クラス 13位：1:47.840

第3戦は優勝と最高の成績だった19号車。

しかし第3戦は赤旗途中終了。表彰式は2位の写真。
もう一度最高の結果をスポンサーとファンと一緒に味わいたい。
そんな思いでチームは鈴鹿に到着した。2連勝を目指して
フリー走行から重みと共にマシンの感触をドライバー、
エンジニアは確かめていた。



残暑の厳しい鈴鹿サーキットで開催される Round.5 SUZUKA。シリーズ後半戦に突入し、4連続あった最後の450kmレースはいつも以上に厳しい闘いが予想される。

午前中の公式練習から熱い戦いは始まっていた。



19 号車はトップからコンマ 5 秒の 1:48.772 と 7 番手のタイムで午前中のセッションは終了。公式練習後のタイムが全 15 台のタイム差が 0.778 しかない熾烈な争いだった。さてサクセスウェイトを 44kg 積んだ 19 号車はどのようなタイムを出すのか？

予選 Q1 のアタックドライバーは国本選手。

気温／路面温度は 33 度／52 度と特に路面温度が高く厳しい予選になると予想された。

Q1 が開始して 1 分が経過したところで、何台かがコースインしたが、19 号車はまだ動かない。残り 7 分となったところで遅めのコースインとなる。3 周周回後、アタックに入ると 1:47.840 のタイムにて暫定 5 位をもぎ取ったが、他車のアタックで目まぐるしいタイム更新があり、19 号車は Q1 が 13 位となり、Q1 突破とはなりませんでした。

Q1 の結果は、8-24-23-64-26-27-38-100 -

(以上 Q1 突破) - 1-3-14-39-19-37-36 となります。

Q2 は残り 1 周にかけたアタックラップを制した 16 号車がポールポジションを奪取。以下、23-17-64-38-24-8-100 となります。

明日の決勝は後ろからの追い上げとなりますが、第 3 戦で優勝した鈴鹿は験の良いサーキットとなります。表彰台のトップを目指して爆走していきます。

皆様の応援、宜しくお願いいたします。





予選コメント

【坂東監督】



『正直重さがあったのか？風の影響なのか？苦しい予選でした。コンディションの変化に対応できるマシンにしてあげられなく両ドライバーには申し訳ないです。今年は速さが見せられていないのでデータを分析して次に繋がります。』

【国本選手】



『予選結果は 13 番手でした。フリー走行から車のグリップが足りないような状況で、いろいろ試しながら、フリー走行では明日に向けてのロングランを進めていったんですけど、予選は選択したタイヤがグリップ発揮してくれる予定だったんですけど、思ったような車のバランスとグリップが出ずに苦しい予選となりました。本当に少し上げればトップ 10 に入れたという部分で悔しさの残る予選だったんですけど、明日 13 番手から 450 km のレースしっかり戦って、ポイント目指して戦いたいです。明日も応援よろしくお願いします。』

【阪口選手】



『結果 13 番手ということで、国本さんは懸命にアタックしてくれたんですけど、全体的にパフォーマンスが足りなくて、(Q1 で)落ちてしまいました。フリー走行の時から一発の速さという部分でいつもの鈴鹿のような感じが出せていなくて、サクセスウェイトとの向き合い方なのか何なのかパフォーマンスを下げているので、そこは厳しかったかなと思います。ただ明日に関してはいつもよりロングがいい傾向が見えているので、しっかり個の順位から巻き返して上位で終われるように頑張りたいと思います。』



8 月 27 日 (日)

決勝 : GT500 クラス 9 位

晴天の中、時折白い雲が覗く鈴鹿サーキットは、
気温が 33 度、路面温度は 50 度、湿度が 70%という、
厳しい暑さの中でのレースとなる。

決勝前のウォームアップ走行では、満タンで車輛バランスの
確認を行い、決勝を見据えたセッティングのチェックを行い、
タイムが 1:50.920 と 3 番手であった。

450km、77 週のレースのスタートドライバーは国本選手。
13 番手からのスタートとなる。

14 時 45 分、各車エンジンスタートからの三重県警の
白バイ、パトカー先導のパレードランからの 2 週のウォーム
ラップからレースの火ぶたが切られた。

オープニングラップはクリーンで、各車等間隔で混乱無く
周回されていく。ペースが上がらない 8 番手スタートの
100 号車が順位を落とし、2 周目には 19 号車の前に
立ちふさがるが、11 位の 39 号車を先頭にセカンドグループの
一員として周回を重ねていく。

序盤は大きく順位変動が無く、淡々と周回を重ねていく中、
早めのピットインを選択するチームが出て、7 周目に 3 号車が、
9 周目には 39 号車がピットに入り、19 号車の順位が 11 位に上がる。

11 周目に 300 クラスの車両がコースアウト、ストップした為、FCY が提示されると、16、24 号車が
すかさずピットに入ると、19 号車の順位は 9 番手となる。12 周目に FCY が解除されたが、チーム戦
略で早めにピットに入る車が出る中、19 周目までに 19 号車は暫定 5 番手まで上がる。

20 周目より後ろの 16 号車にプッシュされるものの、21 周目のヘアピンまで押さえたが、パスされ暫定
6 位となった。

26 周目に 19 号車はピットに入ると、ドライバー交代とフルサービスを受け、暫定 14 位で復帰。全
車 1 回目のピットが終わった 30 周目の 19 号車の順位は 14 位。程なく、アウトラップだった 36 号
車をパスして 13 番手に上がる。

中盤 34 周目の 19 号車の順位は 13 位。前後との車両との差は 10 秒以上あり、単独走行とな
る。40 周目以降、2 回目のピットにはいる車両が出てくる中、46 周目に 2 度目のピットに入り、暫
定 12 位で復帰。

50 周目に 300 クラスの車両が 130R でコースアウト・クラッシュした為、FCY が再び入る。51 周目
に FCY が解除され、レースが再開された。

55 周目から 9 位の 64 号車から 12 位の 19 号車まで、各車 1 秒の間隔で周回を重ねたが、62
周目にヘアピンで 11 位の 8 号車が前の 37 号車に仕掛けた事から発端のバトルが勃発したが、そ





の直後に 8 号車がトラブルにより後退、のち、8 号車が 130R で大きくコースアウトした為、FCY が出たが、8 号車がコース復帰した事もあり、その周に直ぐに解除となった。

そのため、65 周目の 19 号車の順位は 10 位となったが、後ろからは 11 位の 36 号車が迫る。10 位争いはその後、さらに激しさを増し、残り 5 周にはヘアピン手前で 36 号車に後ろから軽く接触されるまでのものとなるが、阪口選手は最後まで 36 号車を押さえきり、10 位でチェッカーを受けました。※決勝後の車両検査の結果、23 号車が不合格となり、失格となったため、順位が一つ繰り上がり、総合 9 位となりました。

選手権では貴重な 2 ポイントを獲得することとなりました。レースは、序盤、予選順位通りに各車等間隔で周回を重ねていく中、序盤からポールポジションスタートの 16 号車が順調に周回を重ねていき、2 度の FCY をもろともせず、16 号車はポルトウウィンで優勝。

以下、39-14-17-1-38-100-64-19-36-37-3-24-8-23 となりました。



決勝コメント

【坂東監督】



『まずは暑い中、応援してくださったファンの皆様本当にありがとうございました。

僕らが望んでいる順位ではありませんでしたが最後まで諦めない走りをドライバーが見せてくれました。その諦めない姿勢が 2 ポイント、9 位の結果をもたらしてくれました。

チームとしてはドライバーに与えるインフォメーションや重い車の状態のセットアップなどまだ課題は沢山ありますが課題を克服しながら次のレースを戦います。

次のレースも 48kg と重いですがチーム一丸となって戦います。

沢山の応援ありがとうございました。

ランキングは 8 位まで落ちてしまいましたが残りの 3 戦は菅生、AP、茂木です。菅生は昨年ポールを獲得したサーキット、AP は昨年 5 位、茂木は予選 2 番とヨコハマタイヤの相性が良いと思っています。シリーズ狙って戦います。』



【国本選手】



『13 位から 9 位でゴールしました。全体的にレースペースが苦しく、少しずつ前とギャップを作られてしまい厳しい展開でした。
課題の残るレースになりましたが、ひとつひとつ改善して次戦では良い状況になるように準備していきます。』

【阪口選手】



『決勝正式は 9 位でした。なかなかペースが足らず難しいレースとなりましたが、トラブルなどなく予選からポジションを上げることができました。
途中 FCY 明けで抜かれてしまったり、FCY の速度調整などがうまくいかずロスしてしまったので、細かいところまでしっかり対策して、次戦に備えたいと思います。応援ありがとうございました！』

SUPERGT

<https://supergt.net/pages>

BANDOH

<http://www.bandohracing.com/>